

## 夏に多い胆嚢炎。当院は早期の腹腔鏡下胆嚢摘出術で、 病悩期間の短縮を図ります

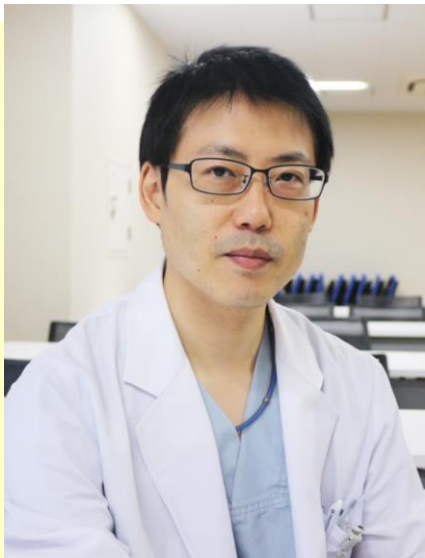
ごく最近の論文にも  
夏の胆嚢炎増加の報告が

8名の常勤医師で24時間365日、急性腹症の受け入れに尽力している外科・消化器外科。医長の吉川医師は「夏は胆嚢炎が多い」と話します。「臨床上、我々はそう実感していましたが、最近の論文にもそれを裏付けている報告がみられます。4千人近い胆嚢摘出術者の季節変動を調べた20年の論文では、月別の手術件数では7月の実施が一番多く、最も件数の少ない2月の約1.5倍の件数

外科医長

吉川 貴久

(よしかわ たかひさ)



03年慶應義塾大学卒業。医学博士 日本外科学会外科専門医  
日本消化器外科学会消化器外科専門医 ほか

となっております(※1)。また16年には約6千400万人の入院患者を調べた研究も米国から報告されており、同様の結果が示されています(※2)。

夏季に胆嚢炎が多い原因は明らかではありませんが、夏は脱水傾向になりやすいため、胆汁の粘調度が上がり、胆嚢炎が起りやすくなっている可能性などが考えられています。

判別しづらい

心窩部痛

心窩部痛、右季肋部痛の訴えから、紹介を頂くことが多い胆嚢炎。無胆石で炎症を起すこともあり。「痛みの程度は人により、激しく痛む方から“なんとなく痛む”方まで様々です。急性症状の場合はもちろんのこと、腹部の違和感の精査ということでも、ぜひご紹介ください。

当院の場合、循環器内科が緊急で受けた心窩部痛の患者さんに、胆嚢炎の診断がつくことも多くあります。

心窩部痛の原因精査はエコーやCTでないと困難かと思われまので、科を問わず遠慮なく当院にご相談いただければと思います。

腹腔鏡下率 98.6%  
緊急手術対応で社会復帰を早める

「患者さんの状態によりますが、当院ではなるべく早期に、緊急手術対応で腹腔鏡下胆嚢摘出術を行います。

急性胆嚢炎・胆嚢炎ガイドライン(TG18)でも早期の腹腔鏡下胆嚢摘出術を推奨しており、当院の19年度の胆嚢摘出術145件のうち、腹腔鏡下143件、開腹2件、腹腔鏡下率は98.6%でした。腹腔鏡下のうち32件は24時間以内の緊急対応で行っています(※3)。

早期手術が組めず、抗生剤投与や経皮的胆嚢ドレナージ後の手術となると治療期間が長くなり、胆嚢炎や胆石発作を繰り返すことが多くなります。早期手術を行えば、そうしたリスクも避けられ、患者さんの社会復帰を早めることができます(通常3〜4日で退院)。

速やかに緊急手術を組めるのは、当院の大きな特徴の一つです。今後も院内体制を整え、地域の急性期医療に貢献していきたいと考えます」。



腹腔鏡下手術を行う尾戸医師と竹ノ谷医師。「麻酔科、手術室の頑張りが救急受け入れ態勢を支えています」と吉川医長。

※1 The Journal of surgical research 2020

※2 Annals of Surgery 2016

※3 NCD より

お知らせ

## CT更新工事による CT受託検査停止のお知らせ

当院に2機あるCTのうち、本館2階にあるCTの入れ替え工事を8月末から9月の間に行う予定であります（GE社製256列マルチスライスCTに更新）。

つきましては、下記期間のCT検査受託を停止させて頂きます。検査のご依頼を頂いている医療機関様には大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力を頂きますようお願い申し上げます。



CT受託検査 停止期間  
8月29日（土）～9月27日（日）

## 小児科 小児の睡眠時無呼吸検査を 開始しました

小児科ではお子さんのいびきの治療を行っています。この度、検査の一環として、携帯用睡眠時無呼吸検査装置による簡易検査を開始しました。

扁桃腺肥大が原因のお子さんのいびきはまず内科的治療を行うことで、改善がみられることが多いので、お子さんのいびきや無呼吸が気になる方がいらしたら、ぜひご紹介ください。



小児科 医長  
**西田 理子** (にしだ さとこ)  
2008年日本医科大学卒業  
日本小児科学会小児科専門医

## 5月に新所長が就任しました 訪問看護ステーションの ご紹介

「荻窪病院 訪問看護ステーション」は、当院にご入院の患者さんのみならず、地域の皆様にご利用いただける訪問看護ステーション。この度、矢澤紀子看護師が当院病棟師長勤務を経て、5月に新所長に就任いたしました。

「点滴を継続されている方や処置が必要な方、呼吸器がついている方の訪問にも伺っています。当院から半径約3キロ圏内の方ならどなたでもご利用いただけますので、ぜひご相談ください。住み慣れた自宅で、その人らしさを最後まで大切に、幸せに暮らせるお手伝いをさせていただきます。」と矢澤所長。「医師・介護スタッフ、そしてご家族やご友人等とチームとなって、利用者さんを支えていきたいと思っています」。

荻窪病院  
訪問看護ステーション所長  
**矢澤 紀子** (やざわ のりこ)



荻窪病院訪問看護ステーション  
TEL 03-5310-3162  
詳細はHPでご覧になれます



## 杉並区 認知症初期集中支援チーム事業に参画

20年4月より、当院は「杉並区 認知症初期集中支援チーム」への参画を開始しました。荻窪・井草エリアの急性期病院の専門職として認知症看護認定看護師やMSWが、認知症の方のご自宅を訪問しながら、その方にとって必要な初期支援について多職種で協議します。院内では上記職種に加え医師や外来看護師・訪問看護ステーション看護師・保健師・OTでチームを組み、会議内容のフィードバックやよりベストな支援の検討を行っています。認知症の初期段階に専門職や行政、ケア24が連携することにより、いつまでも住み慣れた地域で過ごしていただけるよう、支援してまいります。



電動自転車で支援のお宅に向かう湊MSW